

EASTER VILLAGE



イースタービレッジだより・第 26号



アビちゃん、思い出をありがとう

超スピードの這い這いでやって来て
抱っこをせがむのが常なのに
時々すねて横むいて知らないふりをしましたね。

やっとつかまり立ちができた頃
鏡にむかってジェンカを踊った
あの笑顔、小さい小さいかわいい足

お別れしたら泣くって本当？
じっと目をみつめてくれたつづらな瞳

いよいよお家へ帰る前の夜、泣いてばかりで眠らなかった
アビちゃん、今はどうしているのでしょうか

涙を見せずにお別れしたけれど
あなたのいないかわいいベッド、
あなたの着ていたお洋服見れば 涙を拭きます

この世に生を受けて10ヶ月
純粹な自分の気持ちであらわして
やきもち焼いたり笑ったり、泣いたり怒ったりしましたね。

あなたの利かん気を大切にして挫けることなく、しあわせに
神様の深い深い愛を知り、強く生きてほしいと願います

シスター 春日井和子

E V 7周年記念感謝ミサ

8月8日、イースタービレッジの創立記念ミサを捧げました。今年には司教様が渡米中で不在のため、祐川神父の司式で行いました。

7年間の多くの善意の人たちに支えられてきたE V。子どもたちの感謝と賛美の歌声が真っ青な空に響き渡りました。

ミサ後は、E V C C (チャイルドケアセンター) の子どもたちの踊りやE Vの子どもたちの出し物などのプログラム。出店もあり、美味しい食事に舌鼓を打ちました。



答唱詩編を独唱するビビ。その歌声の美しさに参加者全員が感動しました。

出店などは毎年のことながら、地元の大学生たちのボランティアグループが担当してくれています。地域の人たちも来てくれました。



E V C Cの踊り。フィリピンの伝統的な踊りを披露してくれました。ジャペットの姿も。



創立記念日には卒業生も大勢集まり、同窓会のようにになりました。ジジの姿も。

E V C C 新学期始まる

6月からE V C Cも新学期を迎えました。新しいデザインの部屋で新しい机と椅子に大満足。



現在、20名ほどの子どもたちが通うイースタービレッジ・チャイルドケア・センター



少しずつ園生活にもなれ、子どもたちと先生との絆が深まっています。お誕生会なども合同で開かれています。

毎月、テーマを決めて遊びの中から色々なこと学んでいきます。野外活動や植物、動物とのふれあいも含めて、全人格的に成長するように願っています。



花の屋根の集会所でお食事。その他にもイベントはだいたいここで開催されています。



新しい子ども

生まれたての赤ちゃん、まだ湯気がたつて
いるような小さな人類。

生まれた次の日に移って来た。本当に小さ
く、目の部分が腫れていて、失礼ながら、人間
なのかなと思ってしまった。

名前もなかつたり着いたイースタービレッ
ジ。将来のことを考え、いろいろなことが頭
をよぎる。

ふと音楽の大好きな子に育ってもらいたい
と思った。歌の似合う素敵な人。そして、周り
の人たちに音楽を通して幸せを運ぶような人
になってもらいたい。

一生背負う名前をこんなに簡単に決めて良
いものかと思つたが、音楽の聖人セシリアと
名づけた。

欲張つて聖母の名前を先につけ、マリア・セ
シリア、生まれたての赤ちゃんの名前となつ
た。



生まれたてホヤホヤの赤ちゃん。生
後1日。日本ではありえませぬね。

ドリトル売店

東京町田に小さな良いことをするといふ意味で
「DO LITTLE」(ドリトルと読む)の会が
ある。代表の臼井さんを始め、ボランティアの主
婦たちが中心となって小さな手作りの素敵な店に
自分たちのオリジナル商品を売り、売上金をスリ
ランカやフィリピンの子どもたちのために送る活
動をしている。

EVともつながりを持ち、ピラアン族のお母さ
ん、車椅子で生活する人たちの刺繍などをアレ
ンジして販売している。EVの中にも小さな店を作
りました。チエチエが臼井さんと連絡を取りつつ
始めた小さなお店です。子どもたちの遊具など目
に見える形でEVに貢献していただいております。



代表の臼井さんたちが来られた時、地元での生産の可能性
も話し合わせ、その一つの成果として、小さな店を出し
ました。ハイビスカスの刺繍の座布団や南国らしいデザ
インのしおり、誕生カードなど、いろいろなアイデアを出し
合つてこれからも歩んでいきたいと思っています。小さな
輪が少しずつ大きな輪になる醍醐味を感じています。

ご寄付いただいた方々

心より御礼申し上げます

(敬称略、順不同)



堀田敏弘 小川澄世 猪飼桂 久川洋子
水曜会 窄口國博 湯浅勢津
カトリック円山教会EVを支える会
安部包・幸子

ドリトルの会・臼井ふみ江
祐川真一 舛田富榮 蒲池雪憲
安部秀子 佐伯千鶴子 高島正人
カトリック湯川教会マルタの会

濱村みち子 鈴木晴美 立花正博
佐藤道子 安部嘉秋 佐藤正則
樋瓜清子 小川昭子 大箱淳
カトリック北26条教会

上野祐子 大竹紀子 山岡安江
佐山淑子 黒田道子

横浜国立大学・及川研究室
亀田久美子 佐々木賢秀

藤女子中学高等学校4年
扇谷ウタ子 聖心の布教姉妹会

天使の聖母トラピステイ又修道院
榎本みつ江 佐藤克洋 野島美津江
水口透 渡辺広子 金子若男

その他匿名の方々



2009年6月5日～8月24日

イースタービレッジの聖母会

訪問者のご紹介

祐川神父の弟である祐川暢生すけがわのひろおさんが、訪ねてきてくれました。彼は北海道の渡島コロンビーで老人知的障害者の施設長をしており、今回、デンマークなど三ヶ月の海外研修の一つとしてフィリピンの福祉事情の視察も兼ねての訪問でした。

マニラの知的障害者施設などの見学後、E.V.に到着。旅の疲れを癒すと共に子どもたちとも遊んでくれました。久し振りに兄弟のギターと歌も披露。



兄弟のハモリ。息が合っているのと声似ているせいか結構受けました。

デイゴス生まれのE.V常連、小川昭子さんが、ダバオでの会合参加の合間を見て、訪ねてくれました。いつも、子どもたちのために美味しいものを作ってくれる小川さんは「ナナイ」(お母さん)と呼ばれて子どもたちに親しまれています。E.Vの食事担当のナナイと二人のツーショットです。



二人とも共通しているのはフィリピン生まれと料理上手

これも常連の松尾さんが、長年の友人の中島さん、マニラ在住のユウキ君と久々に訪ねてくれました。松尾さん曰く、「僕はここに心の洗濯に来てるんだよ。」いつもE.Vのためにタオルやオリジナルノートを送ってください、ありがとうございます。



熱心な仏教徒にもかかわらず、キリスト教の祈りやミサにも参加していただき、子どもたちとの交流を深めてくださいました。また、来られることを願っています。



毎週土曜日はファミリーブレイ(家族の祈り)をします。天気の良い日には庭で感謝の祈りを捧げます。

半年間ボランティアとして来られた金子剛たかゆき之さんをご紹介します。埼玉の上尾から来られました。26歳の若者。約一ヶ月が経ち、子どもたちともだいぶコミュニケーションが取れるようになってきました。



カラバオ(水牛)に乗ってポーズを取るタカ君。子どもたちからはクヤ・タカ(タカお兄さん)と呼ばれています。

タカ農場開墾

EVの目も前の土地が空いているのを見たタカ君は、子どもたちのためにと野菜農場を作りたいことを決意。農業は全くの素人のタカ君。どうなるでしょう。次号でお知らせします。乞ご期待。



慣れない作業ですが、収穫を目指して土を耕します。いい汗かいています。

サプライズ訪問

突然、EVに日本から女優の北川弘美さんが訪ねてこられました。ウイナリンの行方を探しに・・・TBSの番組「ポストマン」してこられました。9月20日午後10時の放送だそうです。ご覧になりましたか。

内容は分かりませんが、以前E

Vでボランティアをしていた鈴木晴美さんからの依頼で、心を届けて来たポストマンだそうです。



花を増やそう

EVの敷地が広くなったことから、少しずつ子どもたちと花の苗作りをしています。花は売るほど沢山あるので、それをさらに増やそうという計画です。



この日は主にイエローベルとブーゲンビリアの花々

職員と一緒に土に触れるひと時。EVの苗床から美しい立派な花が子どもたちの人生にも咲きますように。

ピアノレッスン開始

夏休みにピアノやバレーのレッスンに非常に興味を示した子どもたち。そのまま中断するのはもつ

たいたいということ、ピアノの先生に毎週日曜日にEVに来ていただき、希望する子どもたちに教えていただくことになりました。



現在、EVからは七名の子どもたちがピアノレッスンを受けています。外から2名来ています。

誕生日おめでとう

一歳を迎えたクラリスの豊富な髪の毛の断髪式が行われました。



フィリピンでは一歳になるまで髪の毛は切らないそうです



ちょうど、この日は祐川神父の弟の送別会も兼ねて豚の丸焼き(レチョンバボイ)も登場



お気に入りのお人形と同じヘアスタイルにご機嫌

クラリスは7月6日生まれ。生まれて一週間でEVに来て早一年です。ぷっくりと太って笑顔をふりま可憐い女の子になりました。
もう歩行も安定してきて、最近では走り出すことも。なかなか生えな

かった歯も出てきて、沢山いろいろな物を食べています。



誕生ケーキのろうソクの火を消した後は、皆に将来の夢を披露します。



さすがフィリピンの子、豚のシッポをしゃぶるクラリス

7月生まれはクラリスの他に17日で11歳になったトントン、30日で14歳のビビがいます。EVではEVに入って最初の誕生日はその日に本人のためにします。二回目からは合同でお祝いします。



トントンは小学校5年生、勉強の方はいまいちですが、運動神経抜群の持ち主。
ビビは現在EVで一番のお姉さん。勉強も成績が良く、歌も踊りも上手。ピアノの腕も上げています。将来が楽しみです。
8月生まれはジュンジュン、29日で11歳になりました。将来は歌って踊れるお医者さんだそうです。やれやれ。

ノートルダム大学生

地元キダパワンにあるノートルダム大学の教育学部の授業の一つとして、毎週土曜日の午前中、五週にわたり Enhancing orphans-self worth through arts and intergenerational communication skills という大変難しい実習



学生たちの教えてくれた踊りを披露す子どもたち

が行われました。
実際には、年齢別に子どもたちを分け、ゲームや遊び、歌や踊りを通して子どもたちの中に潜んでいるタレントを引き出そうというプログラム。最終日には100名を超える学生たちが集まり、授業の総括と子どもたちのタレントを紹介するイベントが行われました。
「我々はどこから来たのか、我々は何者か。我々はどこに行くのか」の問いに答えていくのが教育の根幹であり、EDUCATION(教育)とは本来的に(子どもから能力を)引き出す(EDUCO)であると結論。

イースタービレッジ雑感 (21)

福祉大会に参加して (写真と内容は関係ありません)

先日、第10回 Global Consultation on Child Welfare Servicesという2年に一度、フィリピンで開催される福祉大会に参加してきた。3泊4日で内容の濃いものであった。

今回のメインテーマは「養子縁組(アダプション)の実践:子どもの権利と福祉の発展を目指して」というもの。

300名近い人たちが世界中から集まった。フィリピンの政府関係者、フィリピンで働くNGO(その多くは私も含めて外国人)また、ヨーロッパ諸国、カナダ、アメリカ合衆国、オーストラリアやニュージーランドからも参加者が多く、参加者の8割は外国人のように見えた。



フィリピンの福祉を支えているのは外国人かと皮肉に思う反面、それぞれのゲストスピーカーの内容の濃さに驚かされた。

私の隣に座ったカナダ人のソーシャルワーカーはアダプションエージェンシーで働く人で、休み時間などそれぞれのお国事情を聞いたことも、勉強になった。



日本の児童養護福祉は、施設中心でほとんどアダプションの話題を聞いたことがない。小さいときから施設で育ち、青年期まで過ごすことが一般的だと認識している。フィリピンも含めて、多くの国々では、子どもは家族と暮らすことが第一であり、施設はそのための補助的な役割というニュアンスが強い。積極的にアダプションを進める意義などについて勉強させられ、考えさせられた。

最終日に自分の子ども二人の他に、アフリカ、アジア、中東などから24名の子どもを我が子として受け入れているアメリカ人のお母さんの話と態度が特に印象的だった。

司会者は多少大げさなほどそのお母さんを持ち上げ、賛美すらしていたが、当のお母さんは「何を大げさなこと言ってるの?」という態度で、自分の信仰と家族との絆の中で常に新たに子どもを引き受けていたら26人のお母さんになっていたと・・・淡々と話していた。

本人は堂々と自分のキリスト教信仰が必然的にアダプションを引き受けさせたのだと言っていた。頭の下がる思いがした。まだまだ自分の勉強不足を感じさせてくれた大会であった。



パッションフルーツ

パッションフルーツは誰に聞いても地元の言葉がありません。シスター春日井の話だと徳之島には小さいながらも同じものがあるそうです。地元では一般的な果物で、中をあけると写真のようにオレンジ色の部分がでてきて、それを食べます。甘酸っぱいので、ジュースにするのが一般的とか。子どもたちは大喜び。イースタービレッジに来る前にはよく食べていたフルーツだとか。ビタミンCが豊富です。風邪の予防にも最適ですね。

<支援のお願い>

フィリピン南部にあるイースタービレッジ・ミンダナオは善意ある日本の皆様に支えられています。貧困と紛争の犠牲者となっている声なき子どもたちを私たちが支え、そして彼ら自身が自立し、貧困と紛争の原因を取り除く平和の使者となるようにできるだけ援助をしたいと考えています。与える以上に受けるものの方が本当はもっと多いのです。援助をくださる方は下記事務局にご連絡くださいませ。

「イースタービレッジ・ミンダナオを支える会」(支援者募集)

代表 勝谷 太治 事務局 鈴木 みち子 松川 厚明
060-0031 札幌市中央区北1条東6丁目10 カトリック札幌司教館内

「イースタービレッジ・ミンダナオを支える会」事務局

011-241-2785 Fax 011-221-3668

支援金 : 年会費一口 ¥5,000 (一口以上) 一般寄付

郵便振替口座番号 : 02760-3-39473

口座名称 : イースタービレッジ・ミンダナオを支える会

現時事務所: EASTER VILLAGE OFFICE

Riverpark Subd., Kidapawan City 9400 Cotabato Philippines

Tel: 63-64-278-4742 Fax: 278-3116 Email: info@eastervillage.com

Website: http://eastervillage.com

* 会員、並びに奨学生を支えて下さっているスポンサーの方々、一般のご寄付を下さった方々には継続してこのたよりを送らせていただきます。(年四回)

2009年9月

「イースタービレッジだより第26号」

発行責任者: 祐川郁生

